

# 令和6年度富山県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者実践研修 事前課題 記入の手引き

- ① 令和6年度サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者実践研修の演習では、受講者が各自提出した課題を基に、グループワークを行います。受講者は、**必ず事前に実施し、期日までに事前課題を提出したうえで**研修を受講してください。

## **B日程課題提出期限：令和6年11月29日（金）必着**

※郵送又は電子メールでご提出ください。

これらの課題は、演習を行うにあたって必要になるものです。事前に提出してもらいますが、演習当日も1部ご持参ください。

### ○課題提出先

#### 【郵送の場合】

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号富山県厚生部障害福祉課自立支援係 宛

※封筒に「実践研修事前課題 在中」と記載してください。

#### 【電子メールの場合】

ashogaifukushi@pref.toyama.lg.jp

※件名に「サービス管理責任者等実践研修事前課題」と記載してください。

## 事前課題 記入の手引き



- ② 事前課題は「記入の手引き」と「回答様式」に分かれています。記入の手引きには課題文や回答にあたっての留意事項を記載しているのので、回答にあたっては必ず参照してください。提出する際は、回答様式のみを提出してください。
- ③ 作成した事前課題は、必ずサービス管理責任者や児童発達支援管理責任者（以下、サビ管等という。）の確認を受けてから提出してください。サビ管等としてみなし配置されている方は上司（管理者や法人代表者など）の確認を受けてください。
- ④ 提出期日に課題の提出がない場合、提出課題の内容に不備が多い場合、事例が提供できない場合、提出課題が受講者本人の作成ではないことが判明した場合等には、研修の受講を認めないことがあります。

# 課題① 基礎研修修了後から今回の受講までの業務を振り返ってください。

- 基礎研修終了後、自分が事業所内でどのようなOJTを受けてきたか振り返ってください。
- また、自分の振り返りが終わった後、OJTを行なってもらったサビ管等にも書いてもらってください。
- サビ管等としてみなし配置されている（いた）方は、管理者など上司に記載してもらってください。

令和5年度富山県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者実践研修 事前課題①～③

課題③ 基礎研修修了後から今回の受講までの業務を振り返ってください。

① 自分自身がどのようなOJTをおこなってきたか記入してください。

自分

上記①に関してOJTを行ったサービス管理責任者がどのようなことを指導して行ったか記入してください。

サービス管理責任者や児童発達支援管理責任者、管理者

② 業務の中で成功した事例・工夫した取り組みを記入してください。

自分

③ 業務の中で難しかったり困難と感じたことを記入してください。

自分

上記③に関してサービス管理責任者がどのようなOJTを行ったか記入してください。

サービス管理責任者や児童発達支援管理責任者、管理者

課題② 事業所がある市町村の「地域自立支援協議会」等について調べ、調査表に記入してください。

- 事業所の上司や他部署の方に聞いても分からない場合は、市町村担当課に聞いてみましょう。

## 課題③-1について

- 自分自身の経験や生きてきた中で思ったことや感じたことを記入してください。
- 悩む部分もあるかと思いますが、直感で感じたことを書いてみましょう。
- 無理をしてすべてを回答しなくても大丈夫です。
- 研修当日に、グループで共有します。

## 課題③-2について 水道橋久さんの事例を読み、取り組んでください

### サビ管基礎研修時の事例の概要①

- 水道橋久さんは、A市で2人兄弟の長男として出生。発語や歩行し始めるのが少し遅かった。小学校の1、2年生の時は普通学級に通っていたが、授業中落ち着きがなく、席を立てて教室内を歩き回わり、突然怒りだし友達に手をあげて殴ってしまうことがあり、小学校3年生からは情緒支援の特別学級に移った。小学校6年生の時に軽度の知的障害と判定を受けた。
- 中学は特別支援学校に進学。中学校での生活は、太鼓部に所属し顧問に根気よく教えてもらい部活動では楽しく過ごしていた。昆虫や木工にも興味をもっていた。久さんが中学校2年生の秋に両親が離婚。以後、父親と弟の3人暮らしとなった。その後、久さんは母親と1年に1～2回は会っている。
- 久さんは、特別支援学校の高等部を卒業し、製造部品を作る工場に就職。面倒見の良い上司が、わかるまで丁寧に教えてくれて、ときに叱咤激励してくれたことで、安心して働いていた。しかし、上司が変わってから「上司からの注意が怖い」「仕事が集中して取り組めない」などを訴え、退職して自宅でのひきこもり状態の生活になった。

## サビ管基礎研修時の事例の概要②

- 久さんが退職して半年後、父親が通勤途中で交通事故にあい大けがをして、仕事ができなくなり生活保護となった。父親から「久の面倒をみていくことができない。何とか施設に入れてもらえないか」と市役所に相談があった。久さんも「いずれ自分のことは自分でできるようにになりたい」ので「一人暮らしに向けた準備をしたい」し「すぐに働く自信はないのでそのために力をつけたい」とグループホームを利用しながら、就労継続支援B型事業所に通所することを希望した。
- 久さんは、相談支援事業所にサービス等利用計画案の作成を依頼し、相談支援事業所がアセスメントを実施、計画案を作成し久さんに提示し、了承を得たので計画案をA市福祉課に提出しました。それを受けてA市福祉課は共同生活援助と就労継続支援B型の支給決定を行いました。相談支援事業所の相談支援専門員は、「サービス担当者会議」を行います。

No	サービス等利用計画で整理された解決すべき課題（本人のニーズ）	初期状態の評価 （利用者の状況・環境の状況）	支援者の気になること・推測できること（事例の強み・可能性）	願いや希望を満たすための具体的な到達目標
	<p>グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。</p> <p>今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。</p> <p>困りごとは相談したい。</p> <p>楽しみをみつけない。</p>	<p>知的障害（軽度）障害支援区分3 小学校3年生から情緒支援の特別学級に移り、中学校は特別支援学校に進学。中学進学の際、児童相談所で軽度の知的障害の判定を受けた。</p> <p>特別支援学校高等部を卒業後、製造部品の工場に就職。面倒見の良い上司のもと1年間働いたが、上司が変わってからは、不安を訴えて退職。以後、引きこもりがちな生活をしてきた。</p> <p>困りごとがあっても相談できない。面倒見の良い人がいると素直になって長続きする。</p> <p>趣味は、昆虫の図鑑を見ること、手先が器用なので木工が好き。お菓子やケーキなどの買い物が好き。</p>	<p>自立した生活のイメージは持っていない様子だが、「いずれ自分のことは自分でできるようになりたい」と思っている。</p> <p>「今は働くことの自信はないので力をつけたい」「1人でコツコツと集中できる作業が好き」と就業意欲はあるが、自信を失っている。「朝もなかなか起きられない」ことを自覚している。</p> <p>相手の話は、なかなか理解はできない。丁寧に教わると安心できる。</p> <p>好きなことは集中して取り組むことができる。「一緒に遊ぶ友達が欲しい」「昆虫の話ができる友達ができたら最高」と思っている。</p>	<p>○ 掃除や洗濯、調理等、自分ができることを増やすことができる。</p> <p>○ 朝、起きる時間を決めて自分で起きて仕事に行けるようになる。</p> <p>○ 生活上のわからないことや困りごとを、相談できるようになる。</p> <p>○ 楽しみを見つけることができる。</p>

# サビ管基礎研修時の資料

## 1 1 共同生活援助事業所（介護サービス利用型）で行う個別支援計画（案）

利用者氏名: 水道橋 久さん

作成年月日 ROO / 6 /

【総合的な援助の方針】

グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。

**【到達目標】** 掃除や洗濯、調理など生活していく上での力をつけて、自分のことは自分でできるようになることを目指す。

**【短期目標】** ①グループホームの生活に慣れる。②決まった時間に起きる。③困りごとを相談する。④生活上の楽しみをみつけるための相談をする。

**【長期目標】** ①掃除や洗濯、調理などの生活していく上での力や生活リズムを身に付ける。②わからないこと困りごとや相談して解決できるようになる。③この間にみつけた生活上の楽しみを続ける。

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位
自分で出来る事を増やすことができる。	掃除や洗濯、調理など、まずは出来る事からやってみます。わからない時には、豊田さん、名古屋さんに相談します。	調理器具の使い方や料理の作り方、洗濯機の使い方や干し方、掃除機のかけ方などを丁寧に教えます。	毎日	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	3
朝、起きる時間を決めて、自分で起きて仕事に行けるようになる。	目覚ましをかけて自分で決められた時間に起きるようにします。	目覚まし鳴り続けていて、起きてこない時には、職員が声を掛けさせてもらいます。起きられない時が続くようであれば眠前薬の時間を相談します。	月～、金の朝7時頃	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	2
生活上のわからないことや困りごとを相談できるようになる。	わからないことや困りごととは最初に相談します。まずは、毎日の出来事を豊田さん、名古屋さんに話すことから始めます。	わからないことや困りごととはいつでも話を聞きます。まずは、毎日の出来事について話を聞きます。	わからない時、困った時(いつでも) 毎日 夕方 5時頃	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	1
楽しみをみつけることができる。	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話をしてください。	久さんが、楽しいと思うことを一緒に探したいと思います。	第2・第4土曜日 朝 10時	川崎(サビ管)	2

確認年月日: 令和 年 月 日

利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

川崎 まさお

印

## グループホームピアハウスの概要

- 共同生活援助事業所(介護サービス包括型)
  - \* 夜間は連絡体制のみ
- 入居定員4名 現在 男性4名利用中
- 建物 戸建住宅 5LDK
- 居室4室(8畳) 世話人室 リビング(共有スペース)、お風呂、トイレ、洗面所、キッチン  
は共有
- 立地環境 住宅地の一角にあり、すぐ隣には公園がある。歩いて5分の所にコンビニ、スーパーなどがあり、駅までも徒歩15分程度。
- サービス管理責任者：川崎まさお
  - \* 普段は別にある事務所にいて、他に2ヶ所のホームも見ている。
- 世話人：豊田のぞみ 月～金 6:00～9:00、15:00～20:00(1日計8h勤務)
- 生活支援員：名古屋ひかり 土・日 8:30～17:30(8h勤務)

## 『水道橋久さん 3年前からの障害福祉サービス利用の状況』

～現在の様子～

《共同生活援助(GH)ピアハウス》

家事全般は、自分でできることが増えてきているが、スマイルでの仕事を頑張っているせいか動きが緩慢であったり、促しの声掛けが必要なことも多く確認されている。また朝起きられず世話人に起こしてもらうことが増えてきている。世話人(豊田)の久さんの疲れている様子を心配していた。

3か月後(同年7月)、ピアハウスに精神科病院から退院してきた男性(日野さん)が入居した

《就労継続支援B型事業所スマイル》

早起きが苦手なのを考慮し、遅くても昼食に合わせて通所してもらうよう対応している。この時間設定にするとスムーズに通所ができ、カフェでの仕事に自信が持てるようになり、接客面、皿洗いなど精力的にこなしている。

2か月前(同年2月)、ピアハウスの隣町にある就労A型事業所 えがお に空きがでたと情報が入り、急遽見学と体験利用を行い、本人からも利用したいと希望が出たため、サービス担当者担会議を開催し、本人の意向を確認し1ヶ月後(同年3月)に就労継続支援A型事業所 えがお へ移行することができた。現在、就労継続支援A型事業所 えがお を利用し1ヵ月が経過(11:30～16:00までの4時間勤務 通所日：火・水・木・金・日 休日：月・土)

## 事例②（1ヶ月～半年後（同年4月～9月）の経過）その1

### 《共同生活援助(GH)ピアハウス》

世話人の豊田さんが3月末で退職し、新しい世話人の岡崎さんが久さんの担当になった。引継ぎの際、サビ管(川崎)から、個別支援計画書等の伝達は共有されていたが、岡崎さんは日々の業務に追われ、久さんに対して細かい配慮が行き届かない状態（言葉遣いや態度等）であった。また、会議等にも参加できず、ピアハウス全体の職員対応にもばらつきが見られ始めていたが、サビ管(川崎)も同じく業務に追われ的確な指示や業務改善も行えていなかった。そんな状況が続き6か月後のモニタリングをむかえる。

### 【岡崎さんよりの報告】

- ✓ 「4月当初はピアハウスに帰ってきてからも、A型で働ける喜びからか、私にもいろいろと話してきてくれましたが、最近は久さんも疲れているようで会話は少ない」
- ✓ 「帰宅後の疲れについては以前と変わりはないと思います。」
- ✓ 「日課の家事については、最近はやり残して翌日に回してしまうこともあり、私が声掛けしてもやらない時もありました。」
- ✓ 「日野さんとリビング（共有スペース）で過ごしていることが多く、二人で楽しそうに話している姿をよく見る。ただ、たまに表情が悲しそうな顔をしていたり、怒っているような顔つきでいるので大丈夫ですか？」と声掛けするが『大丈夫だよ！』返答したので、特に対応はしてません」
- ✓ 「つい最近私に、『話がしたい』と本人が言ってきたので、世話人室で話を聞くと『一番最初の給与は3万円だったが、今は、6万円くらいもらえているので、自分の目標である、一人暮らしをしたいと思っている。次の休みの日に一緒にアパート探しをしてほしい』と言ってきた。
- ✓ この話をした後くらいから日野さんも含め、ピアハウスの利用者に『もう俺は大丈夫だから、一人でやっていけるから』と言うようになった。」

## 課題④ 助言指導について

- 回答様式にも書いてありますが、以下の点に気をつけて記入してください
  - 実際に、自分が職場の中で感じたことを書いてみてください。
  - Cのこんなことがありましたについては、①～④の中から選んで書いてみてください。複数にあてはまる場合もあります。
- ★すべての項目を書く必要はありません。
- Dについては、自分が助言指導をするとしたら、どのようにアプローチするのか考えて書いてください。

## 課題④

職場の方を題材に、助言指導の演習を行います。

あなたが、助言指導をしてみたい人を1名あげてください。これが演習の題材になります。

## A. 職員のニックネーム

ジッセン

くん

## B. どんな人？

## ○得意(ストレングス)

若い 体力がある 元気  
休まない 声大きい  
熱意がある 動きが早い

## ○不得意

思い込みが強い 敬語  
じっとしてること  
勉強会 書類を書くまとめ  
る

## C. こんなことありました。

## ① 支援者同士のトラブル

勝手に判断。報告連絡相談が苦手。  
一人で解決しようとしてしまい、空回り。  
意見が強く、強引に進めてしまう。

## ② 利用者さんとのトラブル

利用者さんの気持ちに寄り添うことができず、支援の押し付けになっている。利用者さんからジッセン君が嫌だと不満があがっている。

## ③ 保護者とのトラブル

熱心なあまり、家庭に要求することが多い。保護者はできないと言えず、本音が言えない。できない保護者が落ち込んでしまう。

## ④ 他事業所とのトラブル

批判的。利用者Tさんが混乱しているのは、併行利用している他事業所の対応が悪いせいだ、と思っている。そのことを保護者にも伝え、保護者から他事業所にも伝わり、不愉快な思いをさせてしまった。

D. 『C.こんなことありました』の内容について、Cから項目を一つ選んで、あなたがこれからしてみたいアプローチ（助言・指導）を書いてください。

選んだ項目：④他事業所とのトラブル

- まず注意を促す
- 二人で話す機会を持ち、ジッセン君の思いを聴く。
- ジッセン君の〇〇がいけないと批判的に思っていることはなぜか分析をする。
- 実際、他事業所でどんな支援をしているのか見学に行ってみる。
- ジッセン君と自分と利用者Tさんで話をする機会を持ち、他事業所についてTさんの思いを聴く。
- 会議で、いろいろな人の意見やアイデアを聴く。

## 課題⑤ 事例を作成してください。

- 回答様式にも書いてありますが、以下の点に気をつけて記入してください
  - 本人名については、必ず仮名（ニックネーム）をつけてください。
  - 提出理由については、自分が困っていることの記入をお願いします。自分が支援をする中で、悩んでいる事や困っている事を書きます。
- ★ご本人が困っている事ではありません。
- ご本人の生活に対するイメージについては、支援者が理解している生活を書いてください。
- 本人の言葉や言動については、事実を書きましょう。

※可能な限り1枚にまとめるようにしてください。

※記入にあたっては別紙記載例も参考にしてください。

## 最後に…

- 全ての課題が終わったら、OJTをしてもらった、サービス管理責任者や児童発達支援管理責任者に内容を確認してもらい、サインとコメントを記載してもらってから、提出してください。
- サビ管等としてみなし配置されている（いた）方は、管理者や法人代表者など上司から確認を受けてください。